

# 浜中町公共施設長寿命化計画

社会教育系施設編

平成30年3月

浜中町

---

---

## 《目次》

---

---

1. 長寿命化計画の背景と目的	1
1-1 長寿命化計画の背景	1
1-2 長寿命化計画の目的	1
1-3 計画期間	2
1-4 計画対象施設	2
1-5 目指すべき姿	2
2. 施設の実態	3
2-1-1 対象施設一覧	3
2-1-2 施設関連経費	4
2-2 老朽化の実態	7
2-2-1 構造躯体の健全性	7
2-2-2 躯体以外の劣化状況	8
2-2-3 今後の維持更新コスト（長寿命化型）	10
3. 方針設定	11
3-1 施設規模等の基本方針	11
3-2 改修等の基本方針	12
3-2-1 社会教育系施設における基本方針	12
3-2-2 長寿命化の方針	13
3-2-3 目標使用年数及び改修周期の設定	14
3-3 施設整備の水準	15
3-3-1 改修等の整備水準	15
3-3-2 維持管理の項目手法等	16
4. 長寿命化計画	17
4-1 長寿命化実施計画	17
4-1-1 改修等の優先順位付け	17
4-1-2 今後40年間の計画	17
4-1-3 今後5年間の計画	18
4-2 継続的運用方針	19
4-2-1 フォローアップ	19
4-2-2 情報基盤の整備と活用	19
4-2-3 推進体制の整備	19

# 1. 長寿命化計画の背景と目的

## 1-1 長寿命化計画の背景

平成25年11月に策定された「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）において、各インフラの管理者及び当該インフラを所管する国や地方公共団体の各機関は、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにする計画として、「インフラ長寿命化計画（行動計画）」を策定することとされました。

地方公共団体では、このことを踏まえ、域内のインフラ全体における整備の基本的な方針として「公共施設等総合管理計画」を策定することとなりました。

さらに、地方公共団体は公共施設等総合管理計画に基づき、個別施設毎の具体的な対応方針を定める計画として、個別施設の長寿命化計画（個別施設計画）を策定することとされました。

## 1-2 長寿命化計画の目的

浜中町の社会教育系施設は昭和から平成になる時期に建築されており、今後10～20年間で大規模改修や更新時期を迎え多額の費用を要するものと考えられます。

本計画は長寿命化により中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減や平準化を図りつつ、社会教育系施設に求められる機能・性能を確保することを目的として策定します。



図 1-1 浜中町位置図

### 1-3 計画期間

---

計画期間：平成30年度～平成41年度までの12年間

計画期間は公共施設等総合管理計画の計画期間と合わせて12年とします。また、5年を目処に適宜計画を見直します。

### 1-4 計画対象施設

---

計画対象施設は浜中町が保有・管理している社会教育系施設であり、2施設2建物、延床面積4,268㎡を対象とします。

### 1-5 目指すべき姿

---

“町民生活に潤いと活力を生み出す社会教育の充実”

浜中町の社会教育は、「浜中町教育の基本理念」や「浜中町教育目標」の達成のため、「浜中町社会教育中期計画」を策定し、教育行政執行方針に沿った「社会教育推進計画」に基づき社会教育活動を推進しています。

今日の激しい社会環境にあって、町民が個性や能力を活かし、生涯を通して健康で心身ともに充実した心豊かな社会生活を送るため、多くの学習の機会を提供する必要があります。

幼児から高齢者までが各時期に応じた方法により、主体的に学び、町民生活に潤いと活力を生み出す社会教育に取り組んでいくにあたり、学習活動の中核施設である総合文化センターは、図書室の利用推進や視聴覚教材の充実、団体・サークル活動などでの施設の利用促進を図り、計画的に施設を改修し、施設機能の充実に努めます。

## 2. 施設の実態

### 2-1-1 対象施設一覧

本町には2施設2建物の社会教育系施設があります。

通し番号	調査番号	施設名	建物名	種別	建物用途	構造	階数	延床面積	西暦	和暦	築年数	基準	診断	補強
1	1	総合文化センター	総合文化センター	その他	その他	RC	2	3,757	1987	S62	30	新		
2	2	浜中町円朱別地域文化館	浜中町円朱別地域文化館	その他	その他	RC	1	511	1991	H3	26	新		

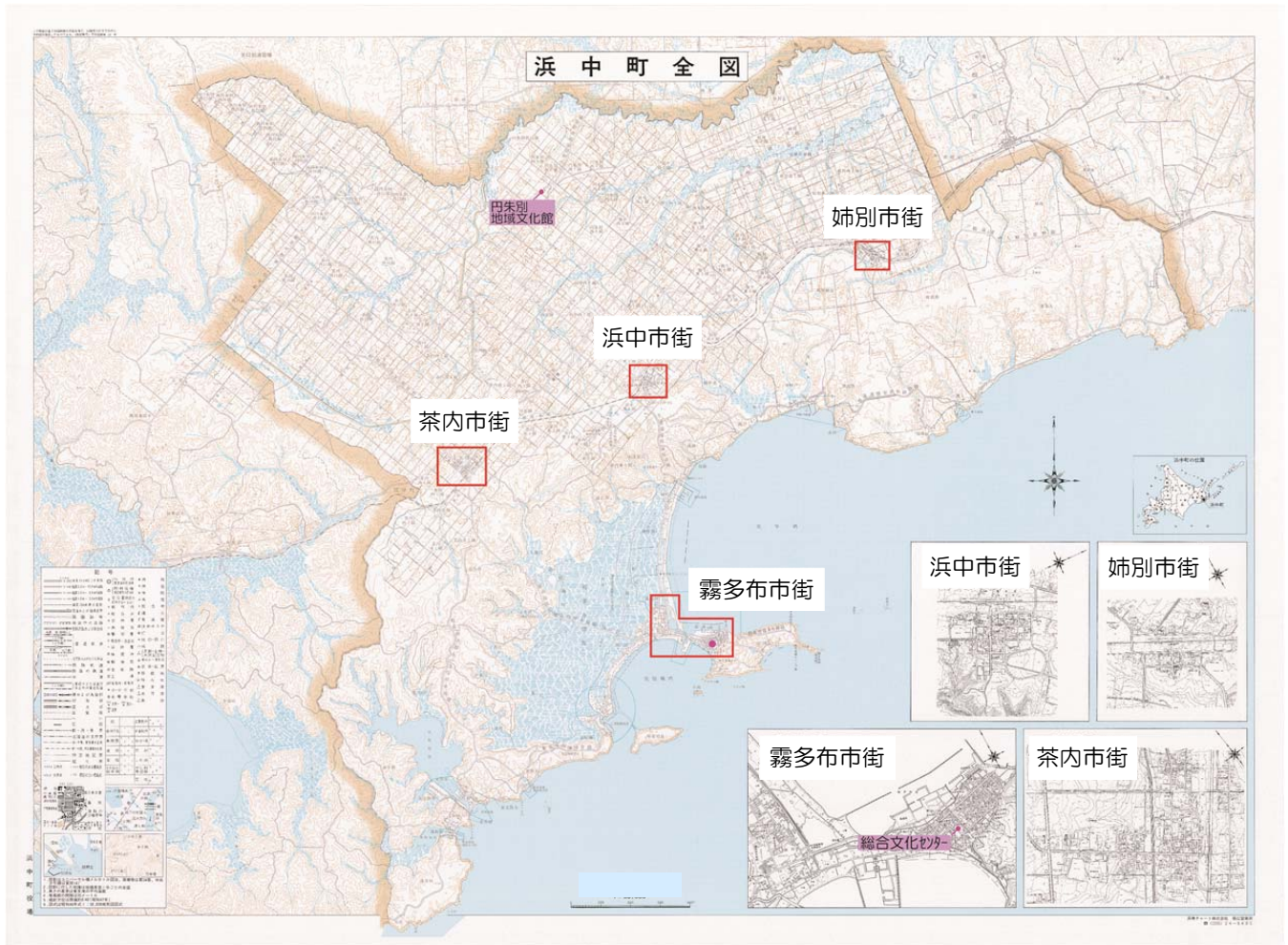


図 2-1 社会教育系施設位置図

### 2-1-2 施設関連経費

平成24年度～平成28年度の5年間の社会教育系施設の施設関連経費は0.2億円～1.1億円で、5年間の平均は0.4億円となっています。

平成26年度は総合文化センター多目的ホール耐震改修工事が実施され施設整備費が多くなっています。

表 2-1 施設関連経費の推移

施設分類	H24	H25	H26	H27	H28	平均	
社会教育系施設	施設整備費	2,441,393	1,816,500	87,912,000	0	21,546,000	22,743,179
	その他施設整備費	0	0	0	0	0	0
	維持修繕費	10,387,659	12,561,900	10,062,503	9,789,554	10,152,516	10,590,826
	光熱水費・委託費	10,536,239	10,297,484	8,767,122	8,060,506	7,842,241	9,100,718
	合計	23,365,291	24,675,884	106,741,625	17,850,060	39,540,757	42,434,723

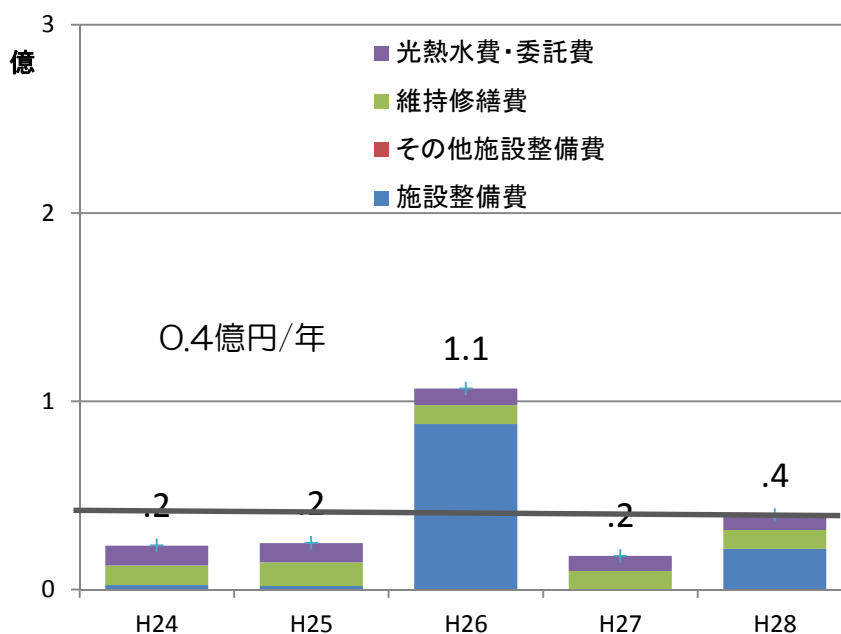


図 2-2 施設関連経費の推移

### (1) 施設保有状況

総合文化センターが築年数30年となっています。浜中町円朱別地域文化館は築年数26年であり、4年で老朽化建物となります。

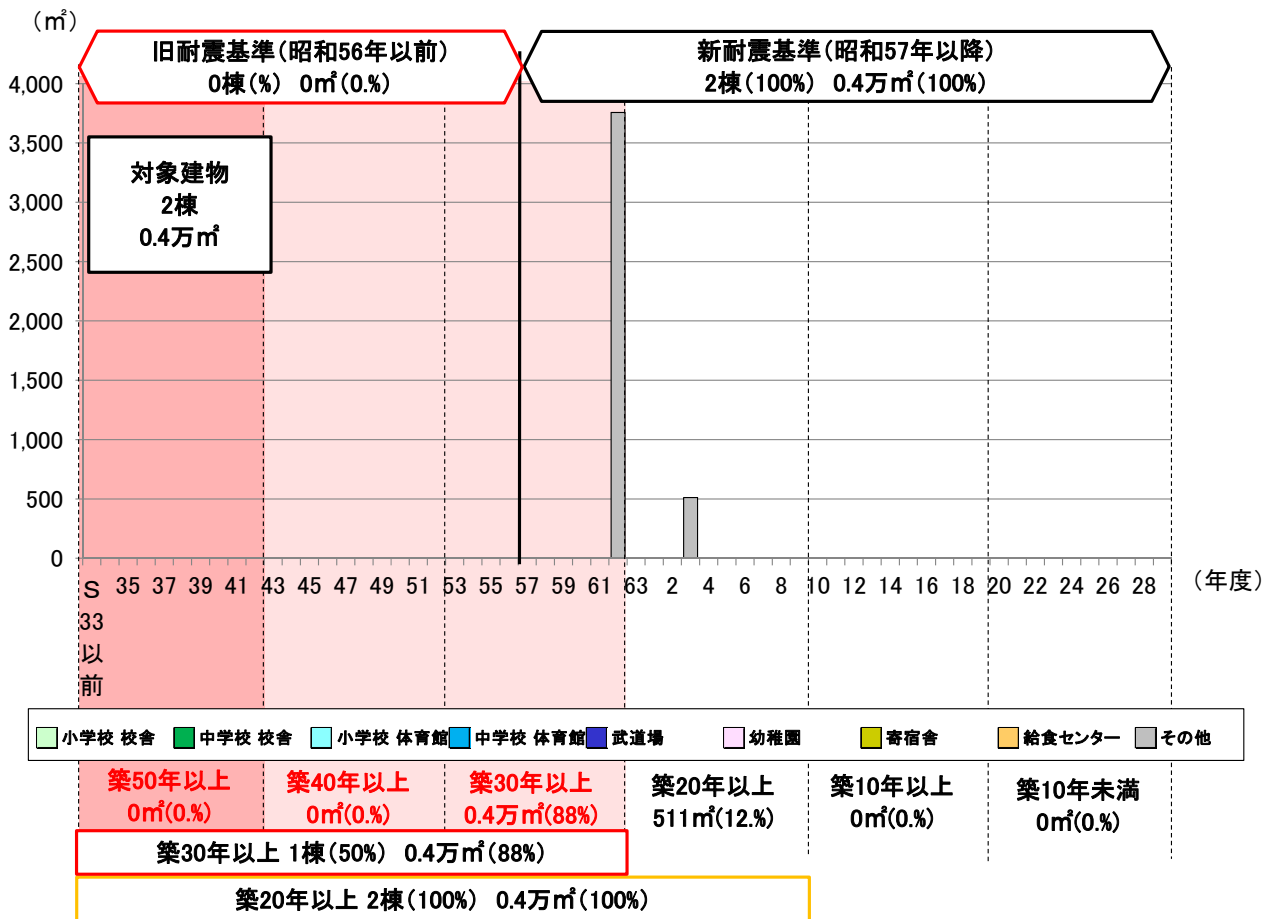


図 2-3 年度別整備状況

## (2) 今後の維持更新コスト

40年で建替える従来の修繕・改修を行った場合の今後40年間のコストは、図 2-4に示すとおりであり、総額29億円、0.7億円/年となります。これは直近5ヶ年の施設関連経費の0.4億円の1.8倍となります。

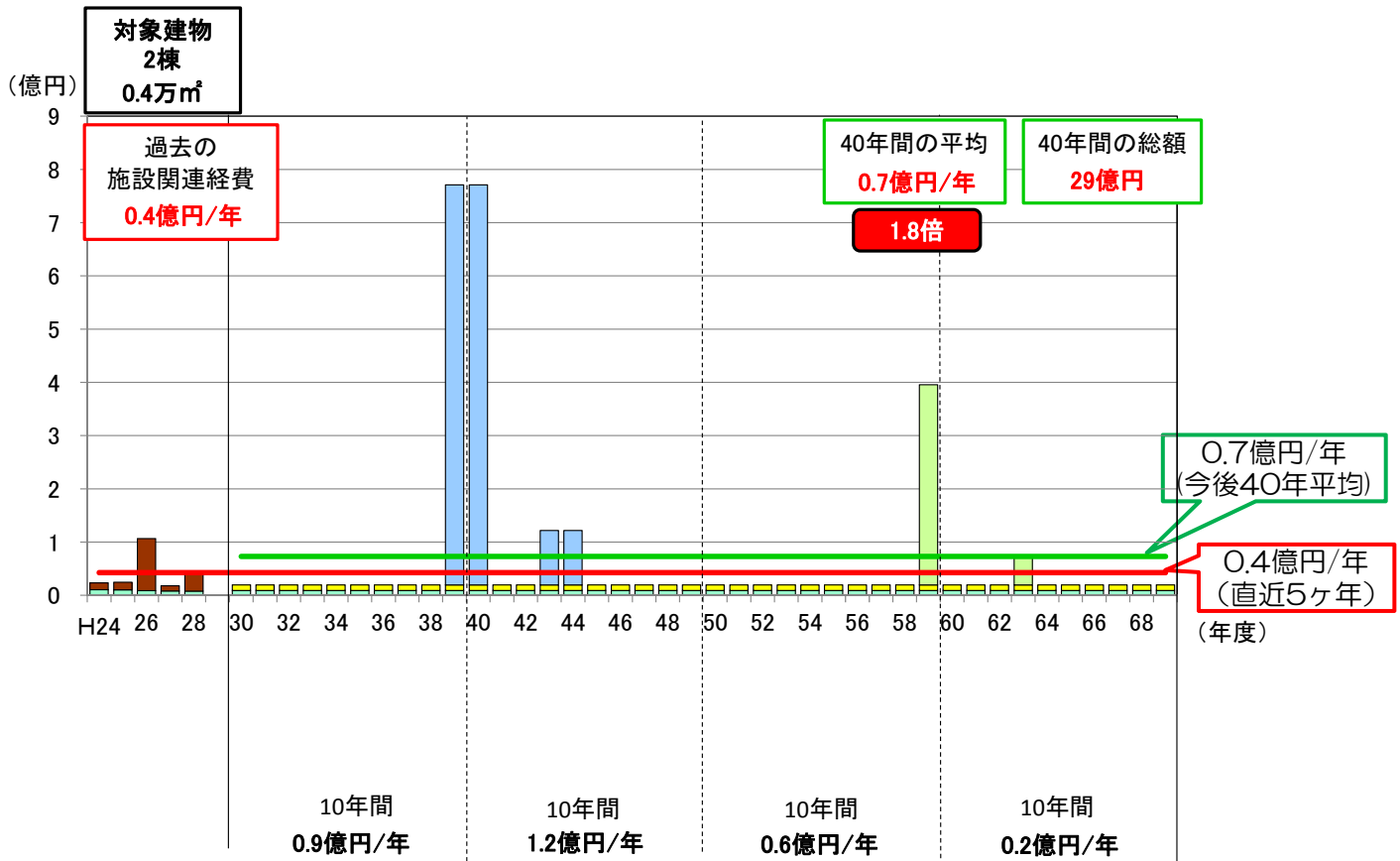


図 2-4 今後の維持更新コスト (従来型)



## 2-2 老朽化の実態

### 2-2-1 構造躯体の健全性

総合文化センター、円朱別小学校体育館ともに新耐震基準以降のものであり、両者ともに鉄筋コンクリート構造でコンクリート圧縮強度が $13.5\text{N}/\text{mm}^2$ 以上あることから「長寿命化」とします。

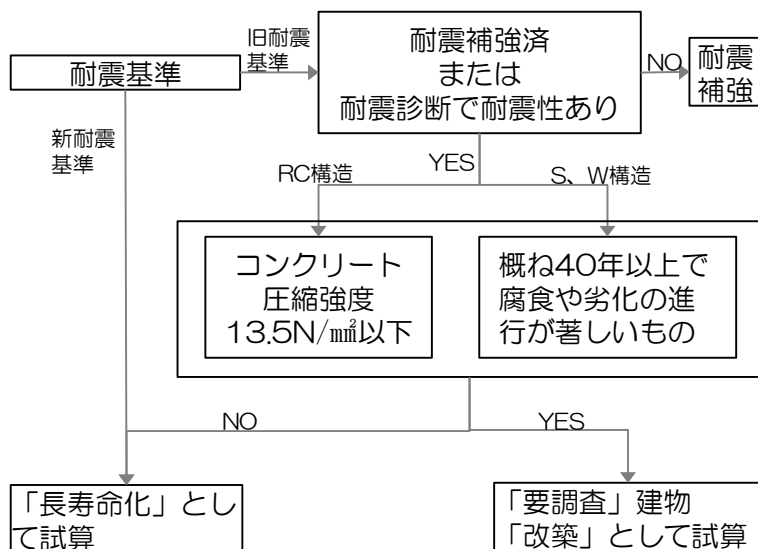


図 2-5 構造躯体健全性の評価

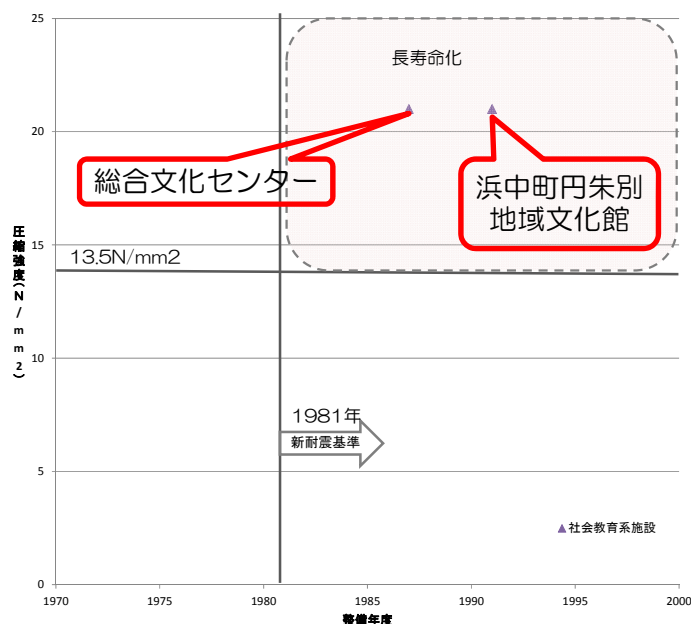


図 2-6 社会教育系施設のコンクリート圧縮強度と整備年度

### 2-2-2 躯体以外の劣化状況

構造躯体以外の屋根・屋上については目視、内部仕上げ、電気設備、機械設備については改修からの経過年数をもとに、評価指標として健全度を算出した。

健全度は表 2-4に示すとおりであり、総合文化センターが71、浜中町円朱別地域文化館が75となっている。

$$\text{健全度} = \text{総和} (\text{部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分}) \div 60$$

表 2-2 評価基準

評価	屋根・屋上、外壁 (目視による評価)	内部仕上げ、電気設備、 機械設備 (経過年数による評価)	部位の 評価点
A	概ね良好	20年未満	100
B	部分的に劣化 (安全上、機能上、問題なし)	20~40年	75
C	広範囲に劣化 (安全上、機能上、不具合発生の兆し)	40年以上	40
D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合	10

表 2-3 部位のコスト配分

部位	コスト配分
1.屋根・屋上	5.1
2.外壁	17.2
3.内部仕上げ	22.4
4.電気設備	8.0
5.機械設備	7.3
合計	60

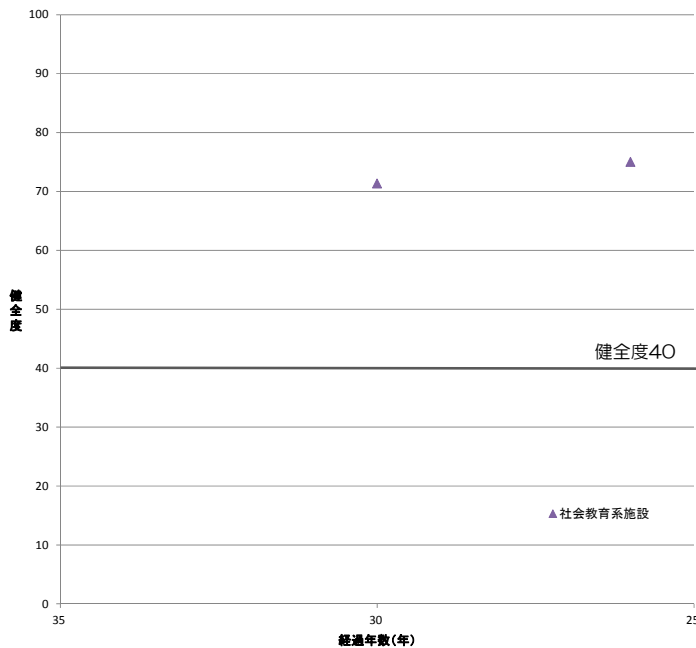


図 2-7 経過年数と健全度

建物基本情報											構造躯体の健全性				劣化状況評価									
通し 番号	調査 番号	施設名	建物名	棟番号	固定資 産台帳 番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)
						種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)						
1	1	総合文化センター	総合文化センター	1	39	その他	その他	RC	2	3,757	1987	S62	30	新			21	長寿命	C	C	B	B	B	62
2	2	浜中町円朱別地域文化館	浜中町円朱別地域文化館	1	90	その他	その他	RC	1	511	1991	H3	26	新			21	長寿命	C	B	B	B	B	72

a.総合文化センター 築年数：30年

屋根・屋上：C評価

・天井等雨漏り跡

壁：C評価

・外壁亀裂



b.浜中町円朱別地域文化館 築年数：26年

屋根・屋上：C評価

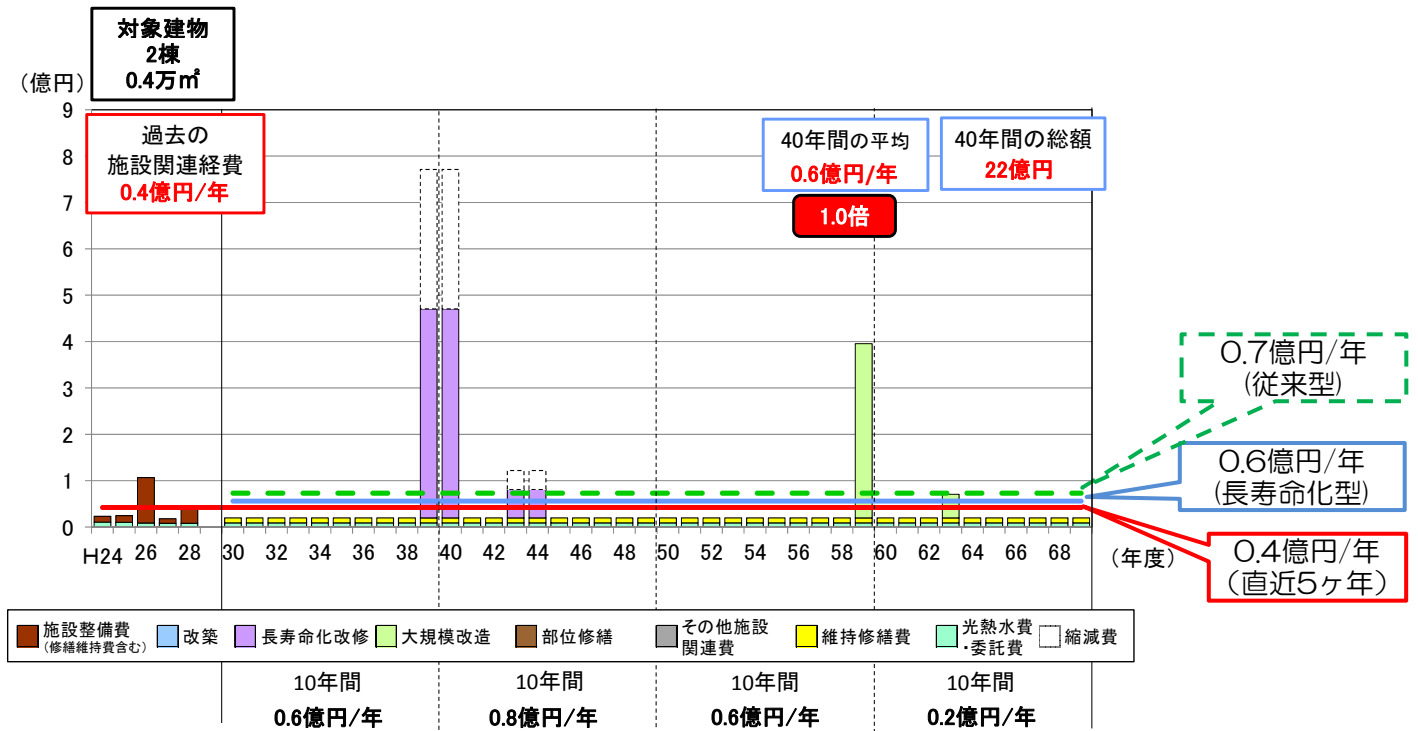
・天井等雨漏り跡



写真 2-1 劣化状況

### 2-2-3 今後の維持更新コスト（長寿命化型）

長寿命化により80年に建物を長寿命化した場合、今後の40年間の維持・更新コストは総額22億円、年平均0.6億円となり、従来の建替え中心の場合の総額29億円、年平均0.7億円の約24%の縮減となります。



#### コスト試算条件（長寿命化型）

<グラフの年表示>

基準年度 2017 和暦

試算期間: 基準年の翌年度から40年間

改築

更新周期 <改築、要調査> 40年 <長寿命> ※1 80年

※1 試算上の区分(改築、長寿命)ごとに更新周期を設定する。試算上の区分が未記入の場合は「改築」と同条件で算出する。

工事期間 2年 実施年数より古い建物の改築を 10年以内に実施

長寿命化改修

改修周期 <長寿命> 40年

工事期間 2年 実施年数より古い建物の改修を 10年以内に実施

大規模改造

改修周期 20年周期 (ただし、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない)

部位修繕 ※2

※2 躯体以外の劣化状況が未記入の場合は、部位修繕は算出されない。

D評価: 今後 5年以内に部位修繕を実施

C評価: 今後 10年以内に部位修繕を実施

(ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く)

A評価: 今後 10年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

改築単価：400,000円/㎡

長寿命化改修：240,000円/㎡

大規模改造：100,000円/㎡

図 2-8 今後の維持更新コスト（長寿命化型）

## 3. 方針設定

### 3-1 施設規模等の基本方針

社会教育系施設の現状と課題、人口構成等の地域特性や住民ニーズを踏まえ、社会教育系施設のマネジメントについては、住民が安心・安全に暮らすことができ、健康で快適な生活環境を実現するために「まちづくりの視点」を重視し、地域の将来像を見据えた社会教育系施設の適正な配置等の検討を行うとともに、原則として新たな建物は建設しないものとし、統廃合や規模縮小などによる施設保有量の適正化を図ります。

人口減少等の社会構造の変化に対応しながら、今後の修繕・更新については、周辺自治体との連携も視野に入れて検討します。

学習活動の中核施設である総合文化センターは、図書室の利用推進や視聴覚教材の充実、団体・サークル活動などでの施設の利用促進を図り、計画的に施設を改修し、施設機能の充実に努めます。

また、予防保全による継続的使用を前提として検討を進めます。

現状の維持管理に係る費用や施設使用料等の適正化を図ります。本町においては、以下の3つの基本方針により長寿命化計画を推進していきます。

#### ■施設保有量の適正化

厳しい財政状況を踏まえ、施設の性能と住民ニーズに基づいた統廃合、規模縮小を進めます。

#### ■長寿命化の推進

今後も活用していく社会教育系施設については、定期的な点検・診断と計画的な維持修繕を実施することにより長寿命化を推進しながら、安心・安全なサービスの提供に努めるとともに、環境への配慮と財政負担の軽減・平準化を図ります。

#### ■既存施設の有効活用

「施設の維持から機能の維持」を視点に一定の公共サービスを確保しつつ、既存施設の管理運営形態の見直しや機能の集約、複合化などを進め、総量の抑制と経費削減を図ります。

## 3-2 改修等の基本方針

---

### 3-2-1 社会教育系施設における基本方針

社会教育系施設の目指すべき姿と現状を踏まえて、施設改修における基本方針を以下のとおりとします。

- 長寿命化の推進  
計画的に大規模な改修工事を実施し、施設の長寿命化を図ります。
- 安全性に配慮した整備  
施設の老朽化により生じる、外壁のひび割れや浮き、建具の開閉不良による事故を防ぐため、「事後保全」から損傷や支障が顕在化する前に対策を講じる「予防保全」にシフトし安全性の確保に努めます。
- 学習活動の拠点機能の確保  
学習活動の拠点施設としての機能の保持、充実を図ります。

### 3-2-2 長寿命化の方針

今後は、中長期的な維持管理等に係るコストの縮減・予算の平準化を行うため、建替えから長寿命化改修に切り替え、部位改修を併用した整備を行います。

なお、円朱別地域文化館については、円朱別小学校体育館を転用したもので築26年となっており、耐用年数47年を迎えた段階で長寿命化改修は行わないこととします。

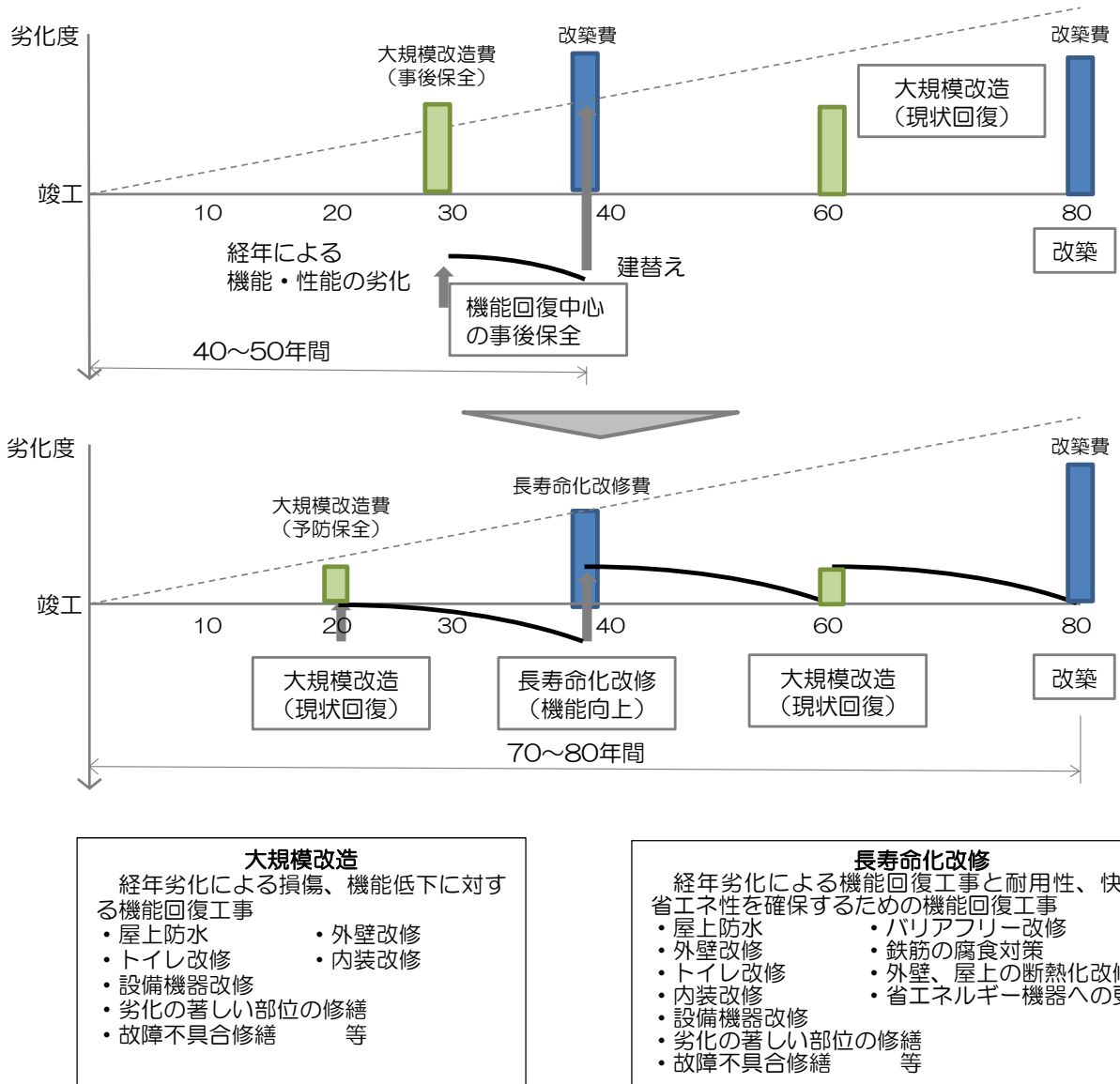


図 3-1 改築中心から長寿命化への転換イメージ

### 3-2-3 目標使用年数及び改修周期の設定

社会教育系施設の法定耐用年数は、用途、構造別に表 3-1に示すように定められています。しかし、物理的な耐用年数はこれよりも長く、適切な維持管理により70～80年程度への長寿命化が可能とされています。

そのため、総合文化センターは躯体健全度が高く長期の使用に耐えうる建物であり、将来コストの削減を図るために目標使用年数を80年とします。（円朱別地域文化館は長寿命化を行わない。）

表 3-1 社会教育系施設の法定耐用年数

	鉄筋、鉄筋鉄骨	鉄骨	木造
体育館	47年	34年	22年
公民館	50年	38年	24年

出典：減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）」

表 3-2 国土交通省損失補償取扱要領による標準耐用年数

鉄筋、鉄筋鉄骨	90年
重量鉄骨造	80年
軽量鉄骨造	55年

出典：国土交通省損失補償取扱要領（国土交通省が公共用地を取得する際、損失補償の現価率に用いる建築物の標準耐用年数）

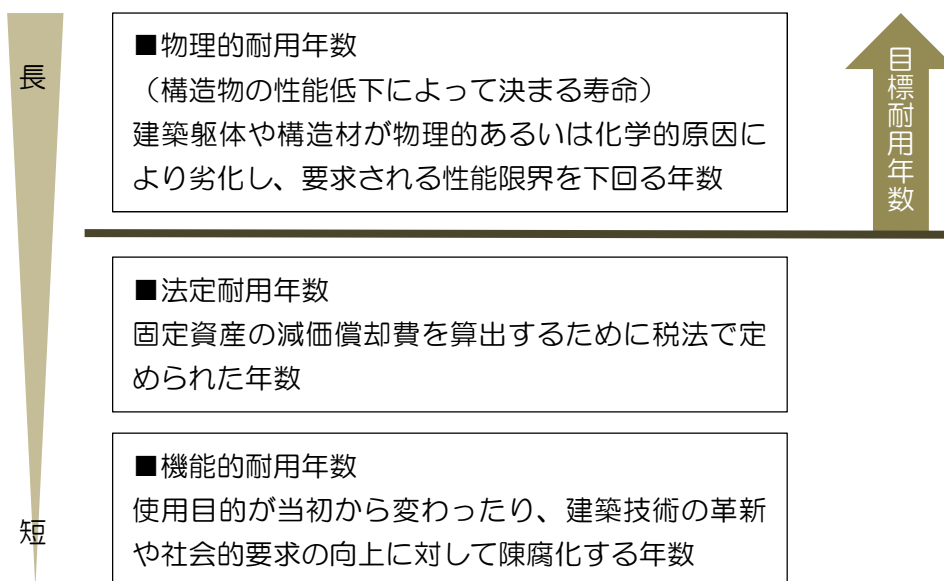


図 3-2 耐用年数の考え方

改修周期については、築40年で長寿命化改修、築60年に大規模改造、築80年で改築するものとします。また、今後10年以内でC部位の部位修繕を行います。



### 3-3 施設整備の水準

---

#### 3-3-1 改修等の整備水準

施設の安全性の確保、財政負担の軽減、平準化の観点から、適切な時期に長寿命化改修を実施し、目標耐用年数を80年とした施設の長寿命化を図ります。

その際には以下の点に配慮します。

- ・ 長寿命化改修では、単に物理的不具合を直すのみではなく、ライフラインの更新等による建物の耐久性を向上させることを目指します。
- ・ 構造体の長寿命化や内外装仕上げ等の改修、設備更新に必要な防災機能の付加など建物の安全性を確保する。
- ・ 機能性や快適性など、学習活動の拠点施設としての必要な環境の確保・維持や必要に応じて社会ニーズに応じた機能付加を図っていきます。
- ・ 環境や省エネ化についても、安全性や機能性の確保と合わせて、効率的に対応が可能となる方策については、ニーズや費用対効果等を勘案しながら整備を推進していきます。

### 3-3-2 維持管理の項目手法等

維持管理の項目はなお、周期は法12条点検に準じて3年毎とします。

表 3-3に示すとおりであり、屋上屋根、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備に分けて点検評価を実施します。

なお、周期は法12条点検に準じて3年毎とします。

表 3-3 維持管理項目

#### a.総合文化センター

通し番号	1
施設名	総合文化センター
施設番号	1
調査日	平成29年12月8日
建物名	総合文化センター
記入者	鎌田
棟番号	1
建築年度	昭和62年度(1987年度)
構造種別	RC
延床面積	3,757 m <sup>2</sup>
階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)		特記事項	評価
		年度	工事内容	箇所数	箇所数		
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) <input checked="" type="checkbox"/> その他の屋根 (ステンレス防水)	H26	防水改修 (スレートのみ)	<input checked="" type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある	<input checked="" type="checkbox"/> ステンレス防水切シール劣化・亀裂	数カ所 20	C
				<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある <input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 樋やルーフトンを目視点検できない <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある	<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> ステンレス防水のハゼからの防水の可能有り <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある		
2 外壁	<input checked="" type="checkbox"/> 塗仕上げ <input checked="" type="checkbox"/> タイル張り、石張り <input type="checkbox"/> 金属系パネル <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等) <input type="checkbox"/> その他の外壁 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ <input checked="" type="checkbox"/> 鋼製サッシ <input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス	H28	図書室A等改修 玄関ホール改修	<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある	<input type="checkbox"/> 外壁タイル浮き <input type="checkbox"/> サッシ廻りシール、タイル目地シール劣化・亀裂	多数	C
				<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input checked="" type="checkbox"/> 塗装の剥がれ <input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある	<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りに漏水がある <input type="checkbox"/> 軒天アルミパネル腐食・変形がある <input type="checkbox"/> 外壁CON制・AD変色 <input type="checkbox"/> 特殊窓作動		

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			B
	<input checked="" type="checkbox"/> 配線等の敷設工事	H24	高圧ケーブル取替え	
	<input checked="" type="checkbox"/> 昇降設備保守点検	H29	5/17点検済み	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事	H26	照明器具取替え	
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事	H26	空調ダクト改修	

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

	健全度
	62 / 100点

#### b.浜中町円朱別地域文化館

通し番号	2
施設名	浜中町円朱別地域文化館
施設番号	2
調査日	平成29年12月8日
建物名	浜中町円朱別地域文化館
記入者	鎌田
棟番号	1
建築年度	平成3年度(1991年度)
構造種別	RC
延床面積	511 m <sup>2</sup>
階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)		特記事項	評価
		年度	工事内容	箇所数	箇所数		
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input checked="" type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根 ( )			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある	<input type="checkbox"/> ステンレス防水切シール劣化・亀裂	4 4 か所の内3ヶ所詰まり	C
				<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある <input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 樋やルーフトンを目視点検できない <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある	<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> ステンレス防水のハゼからの防水の可能有り <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある		
2 外壁	<input checked="" type="checkbox"/> 塗仕上げ <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り <input type="checkbox"/> 金属系パネル <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等) <input type="checkbox"/> その他の外壁 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ <input checked="" type="checkbox"/> 鋼製サッシ <input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある	<input type="checkbox"/> 外壁タイル浮き <input type="checkbox"/> サッシ廻りシール、タイル目地シール劣化・亀裂	3 全体	B
				<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input checked="" type="checkbox"/> 塗装の剥がれ <input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある	<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りに漏水がある <input type="checkbox"/> 軒天アルミパネル腐食・変形がある <input type="checkbox"/> 外壁CON制・AD変色 <input type="checkbox"/> 特殊窓作動		

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			B
	<input checked="" type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

	健全度
	72 / 100点

## 4. 長寿命化計画

### 4-1 長寿命化実施計画

#### 4-1-1 改修等の優先順位付け

改修等の優先順位付けの基本的な考え方は、以下のとおりです。

- ・本計画における劣化状況調査結果
  - C部位の部分修繕を優先して実施します。
  - また、健全度が低い施設から順番に改修を実施します。

#### 4-1-2 今後40年間の計画

今後5年間は、総合文化センター、円朱別地域文化館のC部位の部位修繕を行い、平成39年に総合文化センターの長寿命化改修を行います。

なお、浜中町円朱別地域文化館については、平成43年に耐用年数を迎えますが長寿命化改修は行いません。

この結果、40年間の維持更新コストは総額で22億円（0.6億円/年）となります。これは、従来の建替え中心の場合の29億円（0.7億円/年）よりも7億円、約24%の縮減となります。

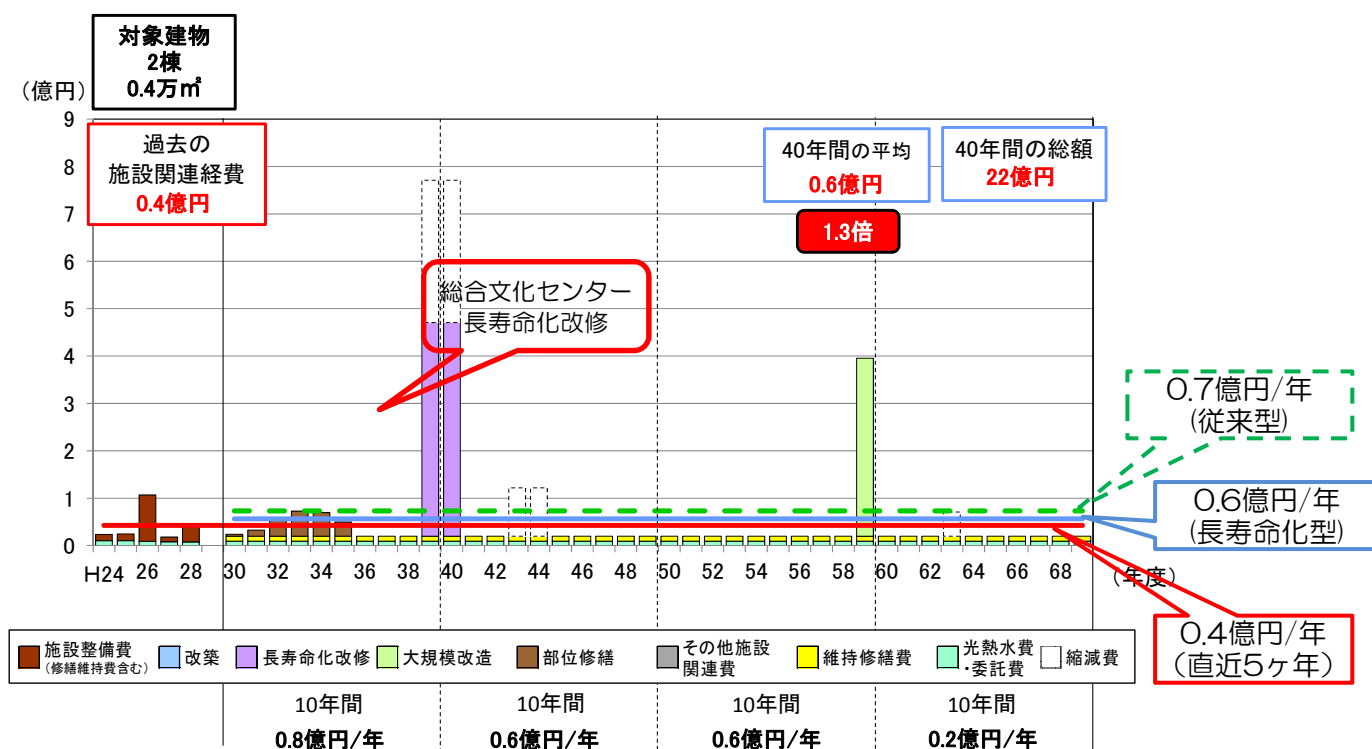


図 4-1 今後の40年間の計画

### 4-1-3 今後5年間の計画

今後5年間は総合文化センター、浜中町円朱別地域文化館のC部位の部位修繕を行い、平成39年に総合文化センターの長寿命化改修を行います。

なお、浜中町円朱別地域文化館については、平成43年に耐用年数を迎えますが長寿命化改修は行いません。

今後5年間の予算額は年平均0.5億円/年であり、投資的経費をやや上回ります。

また、財源については、公共施設等適正管理推進事業による起債等を活用し、財政負担を軽減します。

表 4-1 今後5年間の整備内容

事業名称	2018 H30		2019 H31		2020 H32		2021 H33		2022 H34	
	施設名	事業費	施設名	事業費	施設名	事業費	施設名	事業費	施設名	事業費
新増築事業										
改築事業										
耐震化事業 (非構造部材の 対策含む)										
長寿命化改修										
大規模改造(老朽)										
防災関連事業										
トイレ整備										
空調整備										
障害児等対策										
特別支援学校の整備										
部位修繕			総合文化センター ・屋上ステンレス防水漏水調査 ・外壁タイル浮き調査(赤外線) ・ステージ地下漏水調査	10	総合文化センター ・屋上ステンレス防水改修 ・屋上シール打替え ・エントランス庇漏水改修	30	総合文化センター ・外壁タイル浮き改修 ・外壁クラック処理 ・外部丸柱ネオバリ江改修 ・外部シール打替え ・ホールサツシ雨漏れ改修	50	総合文化センター ・外壁タイル浮き改修 ・外壁クラック処理 ・外部丸柱ネオバリ江改修 ・外部シール打替え ・ホールサツシ雨漏れ改修	50
			浜中町円朱別地域文化館 ・ルーフドレーン及び排水管清掃 ・屋上シート防水破れ補修 ・シール打替え	3	浜中町円朱別地域文化館 ・外壁鉄筋サビ処理 ・外部劣化したシール打替え ・外壁クラック処理 ・外壁塗装部分補修	5	浜中町円朱別地域文化館 ・内部天井雨漏れ跡の補修	3		
その他施設整備費										
維持修繕費		11		11		11		11		11
光熱水費・委託費		9		9		9		9		9
合計		20		33		55		73		70

## 4-2 継続的運用方針

### 4-2-1 フォローアップ

効率的かつ効果的な施設整備を進めていくためには、計画策定（Plan）、計画に基づく改修、維持管理等の実施（Do）、効果の検証と改善課題の抽出（Check）、計画への反映（Action）というPDCAサイクルによる見直しを行い、実現性・実効性を確保した計画とします。

本計画は40年間の長期の計画であり、点検・評価結果に加えて、社会教育を取り巻く情勢変化を踏まえて5年程度を目安に随時見直しを行います。

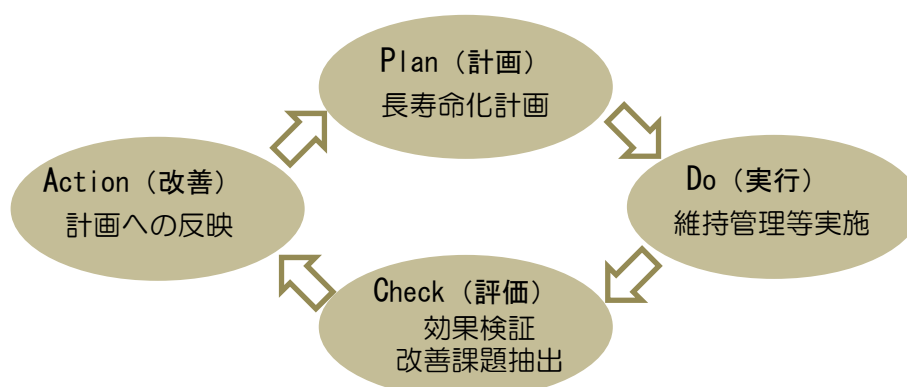


図 4-2 PDCAサイクル(メンテナンスサイクル)

### 4-2-2 情報基盤の整備と活用

建物の情報については、調査表としてデータベース化を行います。公共施設保全システムの活用も視野に入れて、施設基本情報、工事履歴、劣化情報等のデータベース化を図ります。

データは施設情報に変更が生じた場合や改修などが行われた場合に適宜更新するほかに、毎年度更新の有無を含め内容を確認します。

### 4-2-3 推進体制の整備

社会教育系施設の所管課である教育委員会生涯学習課が中心となりますが、公共施設等総合管理計画との連携も重要であり、課題解決に向けて総務課等との連携を図りながら進めていきます。

また、技術面のサポート等から、技術職員の兼務併任による営繕担当部局等との連携、退職した技術職員の嘱託職員としての再雇用などの方策を検討します。